



あわて床屋

北原白秋

春は早うから川邊の葦に、
蟹が店出し、床屋でござる。

チヨッキン、く、チヨッキンナ。

小蟹ぶつ／＼石鹼を溶かし、

親爺自慢で鉄を鳴らす。

チヨッキン、く、チヨッキンナ。

そこへ兎がお客にござる。

どうぞ急いで髪刈つておくれ。

チヨッキン、く、チヨッキンナ。

兎ア氣がせく、蟹ア慌てるし、

早く／＼と客ア詰めこむし。

チヨッキン、く、チヨッキンナ。

邪魔なお耳はびよ／＼するし、

そこで慌て、チヨンと切りおとす。

チヨッキン、く、チヨッキンナ。

兎ア怒るし、蟹ア耻ウかくし、

爲方なくなく穴へと逃げる。

チヨッキン、く、チヨッキンナ。

爲方なくなく穴へと逃げる。

チヨッキン、く、チヨッキンナ。

